

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		科学論Ⅰ Philosophy and History of Science I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 青山 拓央		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
本授業では、ある具体的なテーマに関し、科学が何を見いだしてきたか、そして、哲学では同テーマをどのように扱ってきたかを解説し、その比較を通じて科学の特性を理解していきます（担当教員の専門は哲学）。具体的なテーマとしてはとくに「自由意志」を取り上げ、それにまつわるさまざまな科学史・哲学史（とりわけホブズ以降の約350年ほどの近現代哲学史）を参照していきます。「人間の意志ではなく脳が行為をさせている」といった、近年耳にする機会の多い言説が、どれだけの正当性を持っているのか、さらに、そもそもこの言説は何を「意味して」いるのか、こうした問いを掘り下げることで、科学論の一つの在りかたを提示します。									
[到達目標]									
「自由意志」の科学と哲学をめぐる諸研究を知り、その論点を学ぶとともに、科学的研究の特性を、歴史をふまえて理解できるようになる。									
[授業計画と内容]									
下記の5つのテーマに沿って、「科学とは何か」「自由とは何か」を考えます（授業の進行具合に応じて、どのテーマに何週をあてるかを変更する場合があります）。									
1. ガイダンス・科学的研究の特性について#1（第1週） 2. 自由意志の科学と哲学#1（第2週～第5週） （リベットやメレなどの議論を紹介。） 3. 因果関係と自然科学について（第6週～第9週） 4. 自由意志の科学と哲学#2（第10週～第13週） （インワーゲンやケインなどの議論を紹介。） 5. これまでのまとめ・科学的研究の特性について#2（第14週）									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
レポートにて成績を評価します。採点基準はやや厳しめで、講義内容を十分に理解しているかと、自分の考えを論理的に説明しているかを中心的に評価します。									
[教科書]									
使用しない									
[参考書等]									
（参考書） 青山拓央『時間と自由意志:自由は存在するか』（筑摩書房）ISBN:978-4480847454									
----- 科学論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓ -----									

科学論Ⅰ(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前の予習はとくに必要ではありませんが、授業後の復習は十分に行なってください。

[その他（オフィスアワー等）]

教室収容人数に応じて、受講者を制限することがあります。授業での積極的な質問・発言を期待します。

[主要授業科目（学部・学科名）]